

中高生の居場所

※中高生世代の若者

—

東京都こども未来会議委員

認定NPO法人カタリバ 文京区青少年プラザb-lab館長

山本晃史

文京区青少年プラザb-lab館長

山本晃史

学生時代、若者の社会参画活性化に興味を持ち、中高生世代の余暇活動を大学生が応援する活動に取り組む。

またフィンランド・ヘルシンキのユースセンターでインターンを経験。2018年にカタリバへ入職。学校の校則を対話を通して見直していく「みんなのルールメイキング」事業を立ち上げ、事業責任者として従事。

2024年から文京区青少年プラザb-lab館長に就任。



ユース（中高生）の定義

ユースとは、「ゆらぎやすい存在」である。

ユースは、大人と比べて、ゆらぎやすい年代であり、ゆらぎやすい環境に生きていると考えています。周りからの評価に一喜一憂したり、人間関係に悩んだりすること多いでしょう。だからこそ、ユースのゆらぎに寄り添う存在が大切だと考えます。

ユースとは、「どんな自分にもなれる存在」である。

ユースは、これからのさまざまな出会いによって、どんな自分にもなれる可能性があると考えています。自分のそれまで知らなかった一面に気づき、自分のことを捉えなおすこともできます。だからこそ、枠にはめることなく、ユースひとりひとりの可能性を信じる存在が大切だと考えます。

ユースワーカーの定義

ユースワーカーとは、「ゆらぎに寄り添い、可能性を信じ、ユースのための場をユースとともにつくる存在」である。

ユースは「ゆらぎやすい存在」だからこそ、ゆらぎに寄り添う人や、安心できる場が必要です。また、「どんな自分にもなれる存在」だからこそ、可能性を信じてくれる人や、ユース自身の力を発揮できる場が必要です。ユースワーカーは、ユースとともに過ごし、ひとりひとりと信頼関係を結びながら、彼らを応援し続けます。そして、ユースと場に働きかけることで、安心して力を発揮できる場をユースとともにつくります。

中高生にとっての居場所とは？

ありのままの自分を
まるごと受け入れてくれる

大人になるための
準備をする

民主的で持続可能な社会の創り手
※中央教育審議会

これらを実現する「空間」や「人間関係」のこと

※久田邦明「地域活動としての居場所づくり」

大人が勝手に居場所と決めるのではなく、
中高生一人ひとりが居場所だと思えるかどうか

いつ来ても、いつ帰ってもいい。
一人でいても、誰かといってもいい。
何かをしても、何もしなくてもいい。

ここは、みんなでつくる“中高生の秘密基地”

「好き」に気づいたり、分かち合ったり。
「やってみたい」を、やってみるところ。

誰かを誘ったり、時には誘われたり。
思わぬ出会いから、
新たな物語が生まれるところ。

さあ、今日のあなたに、
どんな物語がはじまるかな？

**ものがたり
どこからともなく
はじまる場**



文京区青少年プラザb-lab

家でも学校でもない、ユースセンター



文京区在住・在勤・在学の中高校生世代

- 年始年末以外無休
 - 9:00～21:00
(中学生は20:00まで)
- すべての利用が無料
- 教育センター（学校支援）と福祉センター療育部門との複合施設のひとつ

- ✓ 誰もが、いつでも、無料で利用できる場所_権利として居場所
- ✓ 「やってみたい」をカタチにできる場所_「好き」を大切に
- ✓ 中高生が、中高生とつくり続ける場所_民主主義を実践する

中高生にとってどんな場所？

「b-labには、ガンダム好きな中高生がいて聞いたことをきっかけに行くようになりました。その中高生とともに、“映画・アニメ同好会”を結成し、サークル長として活動しています。**ガンダムのプラモデルを使ったコマ撮りの動画を自分たちだけで制作したり、自分が興味のある「戦争」というテーマでオリジナルの映画や演劇を創作・発表したりして、好きなことに目いっぱい打ち込んでいます。自分にとってb-labは主体的に活動できる場所です**」



「年3回行われるフェスでダンスの発表をしたり、カメラチームとして写真撮影をしたりしています。学校では他学年の人との交流が少なく、関わる人が限られてしまいましたが、b-labでは趣味が同じ人や、たまたま一緒にゲームをした人と気軽に仲良くなることができます。**学年や学校を気にせずにたくさんの人と関わることができ、自然体の自分を出せるようになったと感じています**」

「b-labのダンスサークルとウクレレサークルに入っています。中学校ではあまり友だちが多くなかったのですが、**b-labに通い始めてたくさん友だちができました。私にとってb-labは第2の居場所です。**b-labに来ると悩みもたくさん聞いてもらえるなど、やさしいスタッフさんたちがいつもいてくれて助かっています」

12月15日 16時~17時 場所
談話スペース

感覚過敏って
なんだろう～？

現場を踏まえた提言

1 すべての若者が尊重され、選択できる居場所を。

2 すべての若者が様々な意思決定に参加する機会を。
「若者と共につくる」ことを目指す。

3 ユースワーカーの配置とユースワーカーマインド
(若者との信頼・対等な関係) を持った大人の育成。

最後に

b-labは、若者との信頼関係をベースに
他者ととともに生きること「共生性」
他者ととともにコミュニティ・社会をつくること「市民性」が
自然に育まれる場でありたい。